

小学校  
3 年

きずなステーションになって、つながろう、発信しよう。

彩和学園 富田林市立小金台小学校

単元名

もっといいまち小金台

単元の目標

自分たちが生活している地域の様々な方との交流活動を通して、地域の方や施設で生活をする方の生き方、思い、願いを理解する。また、それぞれの立場が互いに気持ちよく交流するために自分たちがしたいことやできることを考え、トライ&エラーをくり返しつつ粘り強く活動し、考えたことを生活の中で実践しようとする。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①お年寄りや障がいのある方や園児、支える人たちの思いと願いを知る。 ②調べ学習の手法や手順など、国語科や社会科で学んだことを必要な場面で使うことができる。	①地域のお年寄りや障がいのある方、園児の様子から課題を見出し、一人ひとりとつながるための見通しをもつ。 ②詳しい方に聞いたり、本で調べたりするなどして、課題に対する情報を適切に収集している。 ③集めた情報をもとに、施設の方にとって最適な交流の仕方を考え、相手に応じたコミュニケーションを選択し、実践している。 ④理由や事例を具体的に示して、自分たちがしてきたことや考えたことを他者に伝える。	①身近な人と協力して課題を解決しようと繰り返し工夫する。 ②多様な考えがあること、限界があることなどを知った上で、他者の良さを自分の活動に取り入れ学習活動を調整しようとする。 ③自分にできることを見つけ、自分から進んで、相手に関わろうとする。

学習展開

小単元名		学習活動
施設の利用者の方とコミュニケーションをとろう。 1学期 全16時間	か	本時ABCの三施設が何をするための施設なのか知る。
	じ	高齢者体験、車いす体験、アイマスク体験をする。 施設で過ごす人とコミュニケーションをとる。
	せ	考えたこと、感じたことを整理する。
	ま	考えたこと、感じたことや、訪問で困ったこと、見つけた課題を共有する。
施設を訪問し、コミュニケーションを深めよう。 2学期 全24時間	か	①⑤次回の訪問の計画をする。また、考えた活動が実際にうまくいくか確かめる。
	じ	②⑥施設を訪問し、計画にそって活動をする。
	せ	③⑦学校で、活動の振り返りをする。
	ま	④⑧うまくいった部分とうまくいかなかった部分を整理し、伝えあう。(①～⑧の順番で取り組む)
	か	次回の訪問の計画をする。また、考えた活動が実際にうまくいくか確かめる。【本時】
	じ	施設を訪問し、計画にそって活動をする。
	せ	学校で、活動の振り返りをする。
	ま	利用者との交流から、気づいたり学んだりしたことを話し合い、まとめる。
タウンミーティングを開こう。 3学期 全20時間	か	タウンミーティングのテーマや話す内容を考える。 伝え方も考える。
	じ	地域の方、施設の方、保護者を呼んで、タウンミーティングを開く。
	せ	タウンミーティングで出た内容を整理する。
	ま	自分たちができることを考え、取り組む。

※「か」→課題設定「じ」→情報収集「せ」→整理・分析「ま」→まとめ・表現を表しています。

## 指導にあたって

1, 2年生の未来科では昔遊び、町探検を通して、地域の方とかかわってきた。登下校時の見守り隊の方とのあいさつも含め、児童たちは少しずつ交流を広げながら生活している。そして、この校区での暮らしにより印象を持っている。3年生では社会科で福祉施設について学習するが、その中で、施設やそこで過ごす方に対して児童たちは興味をもっている。

本単元では、児童は行きたい施設を三つの中から選択し、年間を通して同じ施設に複数回訪問することになっている。児童たちには、施設の利用者の方との交流を通し、生活の喜び、すばらしさ、生き方を知るきっかけにしてほしい。交流の際には常に児童の主体性を重視した単元の学習をめざすが、施設の方に「してあげる」といった態度ではなく、「一緒に〇〇がしたい。」といった姿勢がみられるようにしたい。また、常に相手の立場になって考え、行動ができるようにしたい。

施設に訪問し、交流することを通して、施設内だけではなく校区のことについても目を向けるように取り組ませたい。校区全体がまちとしてどの人にとっても「いいまち」なのか、施設の方の目線に寄り添う経験を通して、様々な年代の見方を想定して考えてほしい。そして、「もっと」「いいまち」になるような考えが、たくさんの人を招くタウンミーティングで議論できればよい。

## 本時の目標

施設の利用者の方がもっと笑顔になるために、チームで協力し、工夫しながら自分たちの課題に取り組む。(主体的に学習に取り組む態度 ①)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	支援 (○) と評価 (☆)
導入 (3分)	1 本時の学習のめあてと見通しを確認する。  <b>㊟ もっとよりよくするために、考えよう。やってみよう。</b>	
展開 (32分)	2 もっとよりよくするために専門家の話を聞く。 ・グループに分かれて、幼稚園の先生やデイサービスの施設長、福祉施設の施設長の話から、これまでの学習を振り返り、もっとよりよくするためのヒントをつかむ。  3 もっとよりよくするためにやってみる。 A. 津々山台幼稚園 ・幼稚園の子どもたちが楽しめることを考えて取り組む。 B. 悲田富田林苑 ・障がいのある様々な方が、みんな笑顔になるように考えて取り組む。 C. つつじデイサービス ・高齢者の方が笑顔になるよう考えて取り組む。	○相手の立場に立って考えているか確認する。 ○考えたことが本当に楽しめるものであるか確認する。 ○困った時は、専門家と相談するよう促す。 ☆身近な人と協力して課題を解決しようと工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度①】 (観察)
まとめ (10分)	3 学習を振り返る。 ・ふりかえりシートを書く。 ・次時について考える。 (本時で進んだことを確認して、次時に何をするのか想起する)	☆身近な人と協力して課題を解決しようと工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度①】 (ふりかえりシート)